

第7回市民と議会の意見交換会開催報告

1. 日時

令和元年5月19日(日) 午後2時00分 ~ 午後3時34分

2. 場所

長岡京市立第七小学校 会議室1及び会議室2

3. 説明員

議長	福島和人		
副議長	進藤裕之(司会)		
議会運営委員長	八木浩		
議会運営委員等	西條利洋	小原明大	
	白石多津子	中小路貴司	
	綿谷正己	富岡浩史	
	山本智		

4. 来場者

市民(21人)

報道(0人)

5. 出席議員(8人)

寺嶋智美	富田達也	宮小路康文
田村直義	浜野利夫	上村真造
石井啓子	大伴雅章	

6. その他の出席者

議会事務局(6人)

7. 内容

(1) 開会の挨拶 [福島和人議長]

(2) 議会改革についての報告

[八木浩議会運営委員長]

(3) 議会改革、議会についての参加者からの質問、意見（抜粋）

【高校との連携について】

- 市民 高校との連携というのは、西乙訓高校とだけか。
- 進藤裕之副議長 昨年度は、西乙訓高校で開催させていただいた。今年については、乙訓高校と7月に開催する予定でスケジュールを詰めているところである。

【中学生向けなど、高校生以外に対する主権者教育は】

- 市民 中学生も公民の授業があるので、市議会とはどんなものなのかわかってもらった方がいいんじゃないかなと思うがどうか。
- 進藤裕之副議長 小学生に関しては、「議場体験ツアー」ということで各小学校に声をかけ、一回あたり10名弱に「子ども議員さん」というような形になっていただいて、模擬議会などを開催している。その後は来ていただいた保護者の方も交えて、議員との意見交換ということもしている。
中学生に関しては、5年に1回というタイミングで、実際に演壇に立っていただき、自分たちで考えた質問を市長初め理事者側にさせていただく「子ども議会」を開催している。

【議案のホームページ掲載を】

- 市民 議案をホームページに掲載することはできないか。
- 福島和人議長・進藤裕之副議長 現在は、本会議、委員会を傍聴した方の閲覧資料として議案を6部用意することとしている。議論の中で、議案というのは、議員に与えられ、そこで審議する資料であるため、これをホームページ等に出すと、印刷等の方法で出回ってしまい、決まるかどうかわからないことがひとり歩きする可能性があるという懸念があったので、ホームページ公開に至らなかった。あくまで持って帰れない閲覧資料としては大丈夫だろうということで、現在の取り扱いとしているが、より興味を持っていただける方法をしっかりと検討していきたい。

【議員の品格について(要望)】

- 市民** 他市の議会を見ていると、態度の悪い議員を見ることがある。長岡京市議会ではインターネットでも配信しているため、他のまちの人でも会議の様子を見られるので、同じようなことをすると、まちのイメージが損なわれてしまうと思う。長岡京市議会の方はそんなことはないと思うが、気を付けて欲しいと思う。
- 八木 浩 議会運営委員長・中小路貴司議員** 長岡京市議会では前々から品格を決してみださないように常々みんなで努力している。今後も、市民の代表として、しっかりと品格を持って臨みたい。

【阪急長岡天神駅周辺整備について】

- 市民** 阪急長岡天神駅前広場整備と阪急の高架化を含む再開発については、市議会議員選挙や市長選挙など、選挙があるたびに皆さん声を大にしている。広報長岡京に阪急長岡天神駅東側駅前広場のイメージと予算は載っているが、進捗状況が見えてこない。駅前広場整備については高架化とは分離して早期に着手すべきではないかと思うがどうか。
- 福島和人議長・進藤裕之副議長** 駅前周辺整備については、現在まちづくり協議会という地元の地権者を中心とした協議会で構想まではまとめられており、市側がそれを基にした中で構想のまとめに入っている段階である。1日でも早く解決できるように頑張っていくとしかこの場では言えないという状況である。

【議員定数の根拠は】

- 市民** 議会の改革と言われる中で、議員定数が2名減になったとあるが、現在の人数が本当にいいのかという根拠はなにかあるのか。
- 八木 浩 議会運営委員長** 少ないからいいのか、多ければいいのかということではなく、類似団体と比較し、検討した結果、26人から2名減にしたものと考えている。

【会派の方向性のすり合わせはできているのか】

○**市民** 会派の中でも、相対するような意見が出ているような気がするが、各会派で方向性のすり合わせができているのか。

○**中小路貴司議員（平成市民クラブ）** 議会に臨む前にはしっかりとそれぞれの議員はそれぞれの立場でもって意見を言うというのが当然である。私たちは市民の代表という形で議会に臨んでおり、また、会派においても、会派としてどのように臨むかということは考えている。

【施策導入に至る経過について】

○**市民** 中学校給食導入など、初めに言い出した議員がないがしろにされているのではないかと感じるがどうか。

○**富岡浩史議員（平成自由クラブ）** これまで各会派各党から、中学校給食やパンの販売等々、いろんな御意見を経て、今回全中学校での中学校給食導入という結果になったと理解している。

【予算の大きな事業の早期完了を】

○**市民** 阪急長岡天神駅周辺整備や天神通りの拡幅に関して、莫大な予算がかかっていることから、早期に完成させる必要があると考えるが、どのようにして取り組んでいくつもりなのかが見えてこない。早期に完成させることを考えていただきたい。

○**進藤裕之副議長** 議会サイドで、こうしますああしますとここで言えるものではないが、議会としてしっかりと行政のチェックをし、早期完成を目指した要望というものも上げていきたいと考えているので、御理解いただきたい。

(7) 閉会の挨拶 〔進藤裕之副議長〕